

令和2年度 第3回摂津市民図書館等協議会 要点録

日時:令和3年3月26日(金)

14時00分～15時30分

場所:摂津市民図書館 3階大会議室

出席委員: 7名

欠席委員: 3名

事務局: 3名

案件 1. モニタリング評価結果報告(令和2年度第3四半期)

2. 令和3年度事業計画案

3. その他

(1)モニタリング評価結果報告(令和2年度第3四半期)について

(事務局) — モニタリング評価結果(令和2年度第3四半期)について説明 —
モニタリング評価自由記載欄の意見について

(事務局) ○「緊急事態宣言下の平日で人がいないと思ったが2館とも来館者が結構いた」ということについて。

⇒12月1月の利用は前年同月よりわずかに少なく、他館受取が増加しているため、館内の利用者は減少傾向にある。

(事務局) ○「市民図書館の窓が開放されているのが確認できなかった」について。

⇒市民図書館は1階閲覧室の暖房の効きがよくないため窓を大きく開けない日がある。玄関以外の窓2箇所は開けて換気を行っている。

(事務局) ○「市民図書館は公民館の工事のため駐車場、駐輪場のスペースが狭く圧迫感があった」「公民館工事により駐車場の利用がしにくく、導線もわかりにくくなっている」について。

⇒案内表示、ポールの設置などを行っているが、案内図の工夫を行う。特に駐車場の利用が多いと見込まれるイベント時には、警備員に特に注意していただくよう指示をしている。

(事務局) ○「鳥飼図書センターの駐車場の案内掲示は看板の位置を道路沿いにしないと見えない」について。

⇒道路沿いの植え込みに市広報板等が設置されているので、それらを活用できないか調整する。

(事務局) ○「健康に関する講座や、在宅が長い家族に対してのストレス解消法などの講座があるとよいのでは」について。

⇒コロナ禍の中でも楽しみを見つけてもらうよう、4月に親子工作で「マスクを作ろう」を実施予定である。また本の展示でストレス解消をテーマにしたもの

を考える。

(事務局) ○「学校図書館との連携の充実を希望する。特に読書感想文コンクールの推薦図書や感想文集など」について
⇒学校との連携について、読書感想文コンクールに「図書館長賞」を設けてもらった。その他は図書館見学や団体貸出サービスにとどまっていますが、読書感想文コンクールの推薦図書の貸出などをきっかけにして連携の内容を広げていきたい。

(委員) 読書感想文コンクールの図書館長賞とはどの位置に当たるのか。

(事務局) 金賞、銀賞に次ぐ銅賞の位置になる。賞状と盾が授与される。

(委員) 安威川公民館の工期はいつまでか。

(事務局) 7月末を予定している。

(委員) 夏休みの宿題の読書感想文が以前は強制だったが今は任意になっている。感想文が評価されるのは子どもたちにとって励みになり興味も増すので、賞を増やしてもらえればよいのだが。

また、吹田では移動図書館が各学校をまわっていて、子ども達が利用を楽しみにしている。

(委員) 茨木でも移動図書館はある。摂津はどうか。

(事務局) 摂津は市域がコンパクトなので、移動図書館よりは、公民館等読書拠点の整備に努めていけないかと思っている。

(2) 令和3年度事業計画案について

(事務局) 新規イベントについて、「図書館お助け隊」というものがあるが、こちらは令和元年度まで実施していた「おはなし会ぷらす」の代替えで毎月実施する。内容は、季節の壁面飾りの作成など図書館の作業の手伝いを行ってもらう予定。なお、おはなし会ぷらすは手話を併用した障害者向けもしくは障害を理解することを目的としたイベントであったので、12月の障害者週間に合わせて展示やイベントを行うことでカバーしていきたい。

また、本の福袋の年2回実施、コロナで昨年度中止になった鉄道についての文化講座を実施する。

(委員) 本の福袋の中身はわかるようにしてあるのか。

(事務局) 袋にちょっとしたヒントが書いてあるのでそれを見て選んでもらう。ヒントを作成することが図書館スタッフのスキルアップにもつながっている。

(委員) お助け隊の大人版の実施は。本に興味がある人は本に触れることが楽しいと思う。

(事務局) 2階の書庫ツアーや、実現できるかむずかしいが、開館前の作業見学なども考えてみたい。